

最上クロスロード

国道47号 高屋道路通信

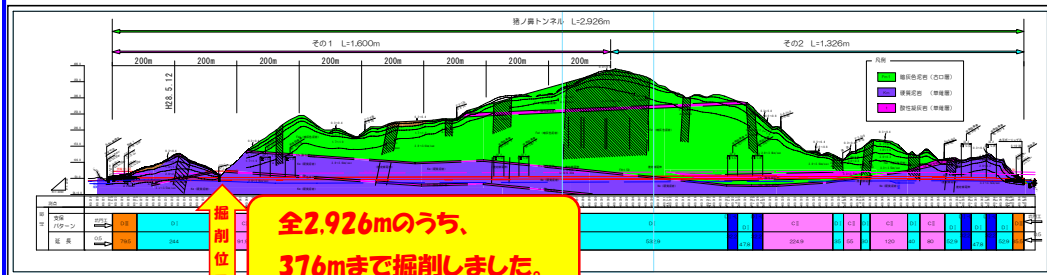
第2号 平成28年7月 発行

◆最上クロスロードについて◆

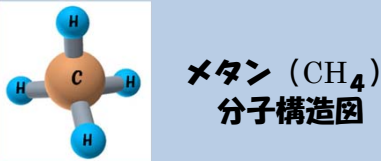
新庄市は、道路（国道13号、国道47号）及び鉄路（奥羽本線、陸羽東線、陸羽西線）が交差することから「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝となり栄えてきたことに由来して「最上クロスロード」と題しました。事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先> 国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設専門官室
 〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2（新庄国道維持出張所内）
 TEL: 0233 (22) 1731、FAX: 0233 (22) 1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/shiniji/index.html>

猪ノ鼻トンネル工事の安全対策(可燃性ガス)についてご紹介します。



「可燃性ガス」とは？
 猪ノ鼻トンネルにて発生している可燃性ガスはメタンガスです。
 (都市ガスに使われています。)
 メタンガスは無味・無臭・無色であり空気より軽く水に溶けやすい性質を持っています。
 空気中の濃度が5～15%の時に着火源が近くにあると大爆発を起こします。



現場で行っている「安全対策」

■調査・分析
 トンネル全線における可燃性ガス発生個所の確認と組成分析を行っています。

▽調査ボーリング(約100m毎に実施)

工法例



■対策
 坑内風速を確保し、可燃性ガスを希釈するための換気設備の強化を行っています。

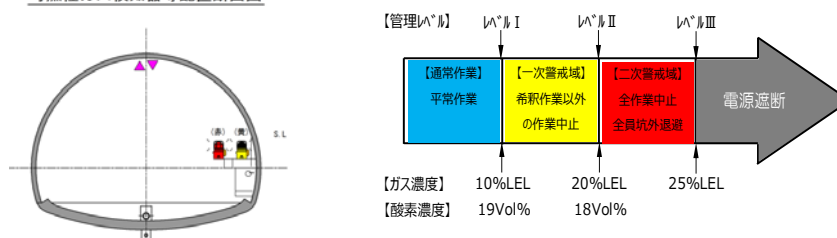
▽送風機の増設(1基→2基 ※風量530m³/分、坑内風速0.5m/秒)



■検知
 可燃性ガスの自動計測と警報システムの構築による安全を確保しています。

▽作業員の安全対策(ガス測定異常値情報のパライトによる明示と坑内待避基準を設定)

可燃性ガス検知器等配置断面図



【これまでの検討経緯】

平成27年11月にトンネル掘削が開始され、地質調査用のボーリング孔から高濃度の可燃性ガス(メタンガス)が確認されました。その結果を受け、法律等に則った安全対策を策定し、専門家を交えた検討会を行いながら安全対策を実施しています。現在も、可燃性ガスは確認されているため、8月1日に専門家を交え、今後の工事の安全対策について検討会を開催します。



可燃性ガス検討会